

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 38 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2016 年 12 月 12 日 (月) 13 : 30～16 : 00
2. 場所 東京工業大学 大岡山キャンパス 北 1 号館第 1 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 木倉 (主査), 浅見 (副主査), 白井 (幹事), 松本, 松岡, 大岩, 入江,
 影山, 小佐古, 佐伯, 澤, 清水, 水谷, 山根, 亘 (15 名)
(代理出席委員) 高橋 (長田代理) (1 名)
(常時参加者) 石川, 吉村, 本田, 樋口, 下条, 広瀬, 野島, 蓬田, 工藤 (9 名)
(欠席常時参加者) 菱田, 大野, 堂守 (3 名)
4. 配付資料
 F4SC38-1 リサイクル燃料貯蔵分科会人事について
 F4SC38-2 第 37 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
 F4SC38-3 標準委員会の活動状況
 F4SC38-4-1 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の検討状況報告について
 F4SC38-4-2 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 コメント対応について
 F4SC38-5 安全解析コード PHITS について
 F4SC38-6 標準の概要 (英語版) の作成について

参考資料

F4SC38-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則他

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告があった。

(1) 人事について

- 幹事より、常時参加者登録の解除の報告が行われた。

(2) 前回議事録確認

- 前回議事録 (案) として F4SC38-2 の確認が行われ、承認された。

(3) 標準委員会、専門部会の活動状況について

- 幹事より、標準委員会での本分科会に関連する事項について、F4SC38-3に基づき報告が行われた。

(4) 各作業会の活動状況について

① 作業会1の検討状況

- 松本委員より、作業会1の金属キャスク標準に係る改定作業の検討状況について、F4SC38-4-1に基づき報告された。
- また、前回分科会においてコメントされた項目に対する作業会1での対応方針案について、F4SC38-4-2に基づき報告された。
- 議論における主なコメントは以下の通り。
 - ・ 今後、上部の専門部会で、本標準の改定目的や位置づけを説明することになるため、改定方針としてリスト化して残しておくことが重要。
 - ・ コメントに対する処理状況として、クローズされているのかオープンなのか、ステータスを明確にすべき。

→今回は、前回分科会コメントに対する対応方針を確認するため、多少分かりにくい資料構成となっているが、次回以降は、コメント回答資料はステータスを明確にするとともに、議事録との整合を取りながら資料を工夫する。

② 作業会2, 3の検討状況

- 松岡委員より、作業会2の状況としては作業会1の改定作業状況に応じて対応していく旨の報告がなされた。
- 大岩委員より、作業会3の状況については、特に進捗がない旨報告がなされた。

(5) 安全解析コード PHITS について

- 浅見副主査より、PHITS コードの概要について、F4SC38-5に基づき報告がなされるとともに今後適用範囲の明確化の検討を行い、PHITS コードを規格化すべきとの提案がなされた。
- 議論の結果、PHITS コードが許認可解析コードとして使用できるかを本分科会で検証することは難しいこと、また、金属キャスク標準の附属書 K に記載されている各コード、ライブラリの位置づけを確認した上で、新たなコードの追加／使用されていないコードの削除の要否について検討する必要があることを本分科会で確認した。

(6) 標準の概要（英語版）の作成について

- 幹事より、標準活動基本戦略タスクからの依頼として、標準の概要（英語版）についての記載内容の確認について紹介するとともに、金属キャスク標準を作業会1の松本委員に、コンクリートキャスク標準を作業会3の大岩委員に、それぞれ確認のとりま

とめを依頼した。

- なお、記載内容の確認の方法として、標準の作成時点の状況でよいのか（或いは現在の状況とするか）について、幹事より標準タスク事務局に確認することとした。
→（補足）会議後、タスク事務局に確認の結果、標準作成時点の状況でよいことを確認した。

（７） その他

- 次回分科会予定
2017 年 2 月 6 日（月） 13:30～ （場所：調整中）

以上